

メカ生体ゾイド

アイアンコング・マークII<ゴリラ型> GORILLA TYPE 帝国側戦闘機械獣

#716228

ZOIDS-IRONKONG MK-II 量産型

■ゾイド・ストーリー

ゾイド軍の中央大陸におけるヘリック共和国とゼネバス帝国との戦いは一進一退をくり返していた。だが共和国軍が超巨大ゾイド、ウルトラザウルスを開発したことにより戦況はしだいに帝国軍の戦況に傾いてゆく。帝国軍陣内奥深くへと侵入する帝国軍。共和国軍はついにウルトラザウルス部隊を主力とする大部隊を投入。帝国首都を包囲した。共和国軍は多くの犠牲をたしながらも首都を陥落させた。ゼネバス皇帝とその侍従は島の海城トライアングルグラスを離れ、北の未知なる領域へと脱出していった。闘いはまた1年の歳月が流れた。ある日の夜パレンシア海にまで来たこともない強力なゾイド軍団が出現し、一瞬にして共和国軍の陣地を破壊してしまった。ゼネバスが帰ってきたのだ。しかも、強力な超巨大ゾイド軍団を率いて。ゼネバス帝国とヘリック共和国との戦いは新たな局面に入らなしていった。



■テクニカルデータ
全長：19.1m 全高：20.8m 全幅：13.1m
重量：198t 最高速度：150km/h 出力：6270ps

- 武器
- 6連装大型ミサイルランチャー——2門
 - ミサイルポッド(10発用)——1門
 - レーザーライト——1門
 - 赤外線ライト——1門
 - 高機動ブースターバック(単独にて飛行可能)——1門
 - 反射対地ミサイル——2門
 - 大型レーザーサーチライト——1門

■特徴

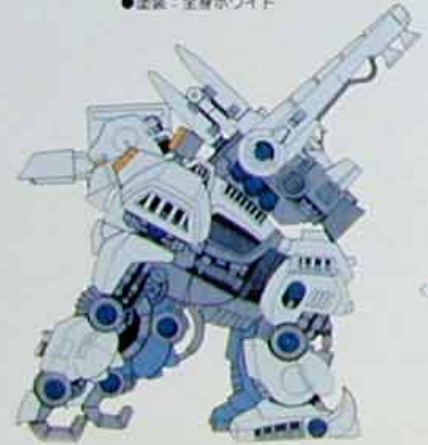
MK-IIはMK-Iのバリエーション型として起動性と火力の能力アップが行われた。しかし量産体制がとれないため、武装が簡略化された。MK-II量産型として任務に就いた。



帝国側仕様バリエーション



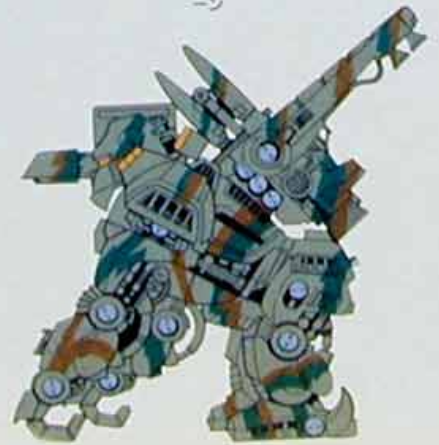
■第38北方方面隊機「オーロラ・ロック」
冬期寒冷用に全身を白にカムフラージュし、ヒーター等を強化。形状による出力の低下を抑えている。外観的には、ノーマルタイプと変わる所はない。
●塗装：全身ホワイト



<活躍想像図>



■森林戦用特種部隊第5中央方面量産型
迷彩パターンの量産機で、森林戦で活躍する機動性重視型である。
●塗装：3色迷彩ダークアース/スカイ/ディートナグリーン



六甲模型教材社本店